常磐毎日新聞

八月二十二日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月卅錢 郵税五厘

廣告料 五號十二行 一日 五十錢

休日 毎月一日ノ翌日

福島縣石城郡平町長橋町三五 常磐毎日新聞社 電話六三〇番

發行兼編輯人 印刷人 川崎文治

福島縣石城郡鍛冶町十一番地 印刷所 本社專屬磐陽社

常磐論壇

農村振興問題

政界通人

◇農村の衰頽窮乏は眼前の事實である、今にして、これが救濟振興の適切なる方策が建てられないならば我が國の農村は、遂に滅亡より免るゝ事は出來ないであらう

◇農村救濟が刻下の急務であることは云ふ迄もない、問題は唯、如何なる方法を以つてするのが、最も捷逕であり、そして最も根本的であるかといふことである方策を建てるには原因を探究しなければならない

◇想ふに、農村衰頽に遠い原因と近い原因とがある、遠い原因とは何であるか、それは歴代の政府が稍ともすれば商工業の振作にのみ力を盡し、農村を閑却したことである

◇近い原因は、歐洲大戰の當時我農作物が列國の需用するところとなり、從つて非常に高價に賣れたが、やがて平和の克復するや、需用減じ勢ひ價格は下り加ふるに大正元年の豐作の結果は底知れぬ暴落となり、然も生産物の下落に比例して他の消費物價が下る所でなく、稍もすれば却て上騰せんとするの傾向さへあつたから如何にするも農民の生活は成立たなくなつたので賣るものが安く、買ふものの高く、搗てゝ加へて負擔が重いといふのであるから農村が疲弊困憊に陥るのは極めて當然な、總ゆる條件を備へて居つたものと云はなければならぬ

◇斯く考へ來れば、農村の頽廢が今日ある所以の主なるものは、中央政府の農村閑却―その結果は地方事業の不振となり、負擔の過重になつたのである―と農産物價の不定にあつたとが認められるゝであらう

◆　◆

電話開設御披露

今般電話架設開通仕候間是非御利用の上倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願候

番號	町名	氏名
六三九	平驛前	寶屋號木炭商 松本定造商店 電略(マツ)又ハ(マ)
六四九	田町	果實商 いづや支店
六三〇	長橋町	常磐毎日新聞社

◇八月二十二日(舊七月三日より)

三丁目 四丁目 聯合中元大賣出し

◇各店獨特の均一品は市價の半値◇

◇美觀……軒並の夜店を御覽下さい◇

亡夫大隆院の新盆に就てはその遺言に基き提灯其他の供物御贈與の儀一切御辭退申上度く何卒此段惡しからず御承知の程御願申上候

平町三丁目丸又

久野喜久子

今年は亡母貞草院の新盆に相當仕候へ共遺言に據り提灯其他の御贈與品總べて御辭退申上度く此段不悪御諒知奉願上候

平町四丁目

星野庸治

齒科

平町土橋通り

原齒科醫院

電話卅一番

明治製菓會社

代理店 ヤトモツマ

夏帽子　洋傘

大谷洋品部

大谷時計店

平町三丁目 電話一九番

産婆開業

平町田町(呼電話三二三番)

片寄產婆方

東京帝國醫科大學產婆復習科卒業

鈴木ミエ

◎妊婦產婦御預り致します◎御困りの方には無料でお扱ひ致します

中元奉仕割引會

お買上げ五圓以上

一割引

◇舊七月一日ヨリ五日間

『開店七十年祝として、紀念賣出しをする豫定であつたのをその期を得ず七十二年のこのお盆に奉仕的賣出しを決行いしました

◇是非お仕着せ物や

◇御贈答品……は

この機を御利用下さつてこの催しを有効に終らして戴きたう存じます

亀田屋吳服店

平町三丁目(電話五十七番)

畜力大王

朝鮮牛直輸入

交換又ハ分讓需應

平町田町

三二三屋

電話三二三番

謹啓時下酷暑之候益々御清榮之段奉賀候陳者亡妻新盆に就ては提灯其他供物御贈與の儀は甚だ勝手なる次第に御座候へ共御辭退申上候間不悪御諒知被下度奉願上候　敬具

大正十四年八月廿二日

平町長橋町

宗形忠次郎

公金三千八百圓の横領犯人收監さる

一先サツビラを切つて全部藝妓に預けた

平營林署の公金三千八百圓を横領した元同署雇川井幸太郎(三三)に關しては其後平署にて小熊司法主任が取調べ續行中の處昨夜事實の一切を自白したので今廿二日午後三時幸太郎は平支處未決監房に收監された

危篤の父を家に殘して

小蝶は平署へ

事件の起つた十七日の夜幸太郎は三千八百圓を懷中に新田町のんき亭に登り馴染の藝妓潮月の小蝶を待らし

『俺れは父親から　どう〳〵これだけしぼつて來た』として三千八百圓のサツビラを切りこれで借金を整理するとて今迄の呑勘定代金百餘圓を支拂つて殘金三千六百餘圓は『當分お前に預けて置く』と小蝶に手渡した、丁度此夜小蝶の實家からは『チヽキトク』と云ふ電報が來た爲め其内から百圓ばかりを引き拔いて翌十八日小蝶は

平驛發の　一番列車で目下横濱に居る父のもとへと立つた、そして二日二晩父の看病を爲し廿一日の急行で平驛に着くやいなや待つて居た警察署員に引き立てられたのであるが今日になつても未だ平署からは歸宅を許されない

磐城丸出漁

鰹は未だ來る

驟雨續きのため荒れにあれた海洋の靜まりを見て去十八日早朝出帆した本縣水試

一日一言

縣會議員　草野順平氏

余の政黨的行動に對して種々の下馬評が頻りに傳へられて居る、されど余は飽迄も嚴正中立であつて一黨一派には飽迄も偏しない、憲派や政派の別なく其唱ふる處正義であるなれば余は何れの政黨を問はず其人々を援助して縣民の利福を增進すべく努むるであらう

船磐城丸は海上三日間に亙る漁場の調査を行ひ廿日夜歸港したが十九日銚子沖に於て鰹七十尾を漁獲したるのみ採まれた海洋が未だ舊に復さないので大鰹群の來游を認め得ざるが如く今後の漁況に就ても尚調査の上でなければ見込か立たないと

町長宛感謝狀

伏見平町長宛に小名濱に開設中の兒童保養所主管馬場文雄氏から菓子寄贈の感謝狀があつたと

硝子戸を破り侵入せんとせる怪漢捕る

本日午前零時半頃平署愛澤巡査が平町胡摩澤を密行中

炭ガラと粘土で

江名道路の改修

平監督所計劃……

江名間の道路に試驗的に使用することゝなつた

石城郡内における道路修繕工事に關し江名町方面に使用する砂利は運賃だけでも一坪八十五圓といふおどろくべき高價である處から平土木監督所では渡邊所長が種々苦心し頭をひねつた末年額十萬トン以上の石炭を消費し乘て場にこまつてゐる平町磐城炭礦發電所の炭殼ならば運賃實費だけで使用し得るので炭殼だけでは出水の際流失の恐れもあるが粘土をまじへて僅に使つたならば自然堅牢な道路にならうといふので調査の結果運賃は一マイルで一坪あたり二圓五、六十錢で足りる事が分かつたので近く平

家庭欄

スイカの喰べ方

(一)　東京の人は多く西瓜そのまゝを冷藏庫の中に入れて冷し、適宜に切つて皮のついたまゝ果肉をスプーンですくひとり、又は直接口を宛てゝ喰べますが、青い果皮に附いた桃色の果肉の汁をすゝり乍ら喰べる心爽さはこの喰べ方の最もいゝ點であります。

(二)　赤い果肉の箇所をねぐつて細く庖丁をあて、それを皿に盛つて砂糖と氷と交せて頂くのもお座敷等では結構な方法とも思れます

(三)　西瓜を眞中から割つて洋刀でかきこはし砂糖と氷を入れてスプーンですくつて喰べる方法もある。

(四)　汁を絞りその汁をアイスクリムを作ると同じ方法で凝結させて賞味する方法などもあります。これは永くとつてはおけません

同町小會納夏吉方表硝子戸を開き侵入せんとせる怪漢

ある爲め直ちに引捕へ平署に引致したが此男は住處不定山形縣南村山郡上椚澤村生れ林恒義(三二)にて平町數ケ所を荒し廻れる餘罪發覺引續き嚴重取調べ中

松崎屋旅館に覆面の强盜

八百圓窃取

二十一日午前三時平町新田町松崎旅館に覆面の强盜入り投宿客なる東京の貴金屬商某の金八百圓を窃取逃走した屆出に依つて平署は八方に刑事を飛ばして搜査中である犯人は西白河町の某らしいので各地に逮捕依頼を發した

龜田屋の盛況

開業七十年記念二割引中元賣出し中の三丁目龜田屋呉服店は各方面から好評を博し店前に人の山を築いて居る

刑事來と聞き逃げた泥的

小名濱で捕る

居處不定茨城縣那河郡大賀村大字上大賀生れ廣木三郎(三〇)は東東や水戸を始めとし平町四倉小名濱に於て窃盜を働いて居た者であるが平署に探索の結果湯本町に潜伏中であつたことを確め昨日安田刑事逮捕に向つた處逃走した爲め小名濱迄追跡逮捕したと

不平受付

投書歡迎

大通りのゴミ箱　時々記載されますが平町の大通りの店前に見ぐるしくなつて居るゴミ箱が見ゐますが町當局はこれを何んと見て居られるか　(愛町生)

▲伏見町長の答　ゴミ箱は其區の衛生組合で總べて仕末する事になつて居るのですが大部改善されて來たばかりでなく目下試驗中のゴミ運び自動車に依れば今後は清潔を保てると思つて居ます

常磐片々

○

横領した公金を藝妓の許に預けて涼しくなつた男あり此男藝妓を銀行と履き違いたらしい

○

一体コンナ常識外れの男を五年間に亘つて雇つて置いた營林署も眼が暗かつたと云ふべきなり

○

平署に引致された日始めてアワテ、首をチヨン切〳〵『當署と何等の關係なし』等は御手並下の下と云ふべし

○

夫れにしても昨今無聊に苦しんで徒らに腕をさすつて居た平署近來の捕り者として署長始め署員一同ニコ〳〵顔は現金、現金、

思想の動搖は

少しも認めぬ

石城郡の點呼

石城郡における簡閲點呼は福島聯隊區司令部員皆川少佐執行の下に去日澤渡を最初に十九日の植田町を以て終了を告げたが點呼者總數休歸役は千八百十八名

未教育者　千七百八

十九名計二千九百三名でそのうち所在不名病氣無届等による不參者總數九十名に達したが本年における點呼者の一般成績は概して良好で殊に新思想にかぶれた所謂社會主義的な危險思想の流れを認めなかつた事は寔に喜ばしい現象で尚ほ三坂

澤渡方面

の山の手は比較的よく是は主として青年團及び在鄉軍人等の指導啓發に因るもので成績の惡かつたのは海岸通り方面の者と歸京中の在京者或は私立大學生等で帝大生はさすが最高學府を修めただけに成績は良好であつたと執行者は語つた

收獲皆無卅町

先般の出水に依る石城郡の農作物被害は目下調査中であるが水稻が冠水腐蝕して收獲皆無となつたものは約卅町歩以上の見込みであると

縣參事會員

會計檢査日割

けふ歡迎會

本縣參事會員は縣費出納檢査の爲め本日來平せる依り午後六時から水野郡長、樫村平署長、伏見町長發起にて谷口樓に歡迎の宴を張ると因に檢査日割左記の如くであると

(廿二日)四倉分署、郡役所(廿三日)平土木監督所平治療院、平警察署(廿四日)磐城中學校、磐城高等女學校(廿五日)旅行(廿六日)植田分署、小名濱築港事務所(廿七日)豐間回春院、水産試驗場(廿八日)開散

甘藷地の視察

本縣佐本農事試驗場長及び高木技師は石城郡大浦村の甘藷の紋葉病試驗地及び水田施肥標準試驗地を視察に來郡郡田技手の案内で廿一日大浦村に至つたと

山田村長當選

石城郡山田村にては此程村長選擧の村會を開き滿場一致安島重三郎氏當選したと